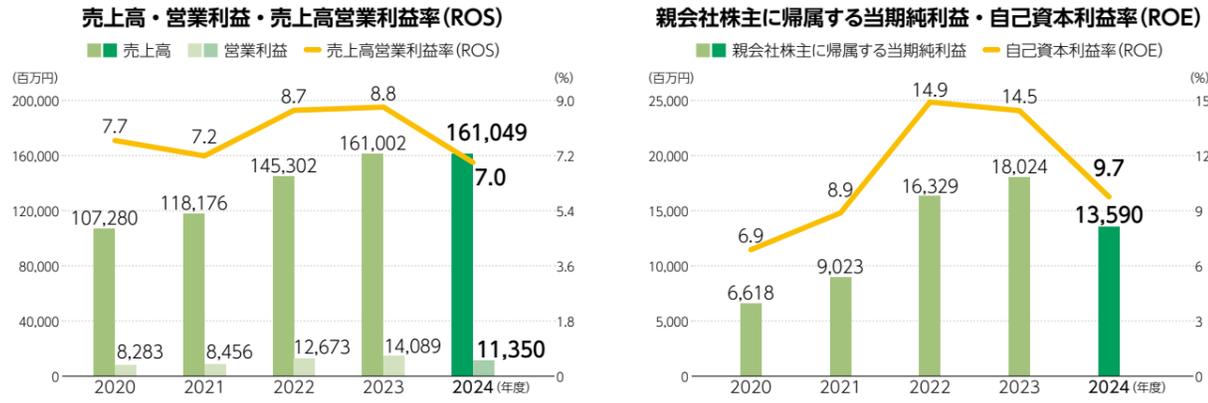


財務・非財務ハイライト

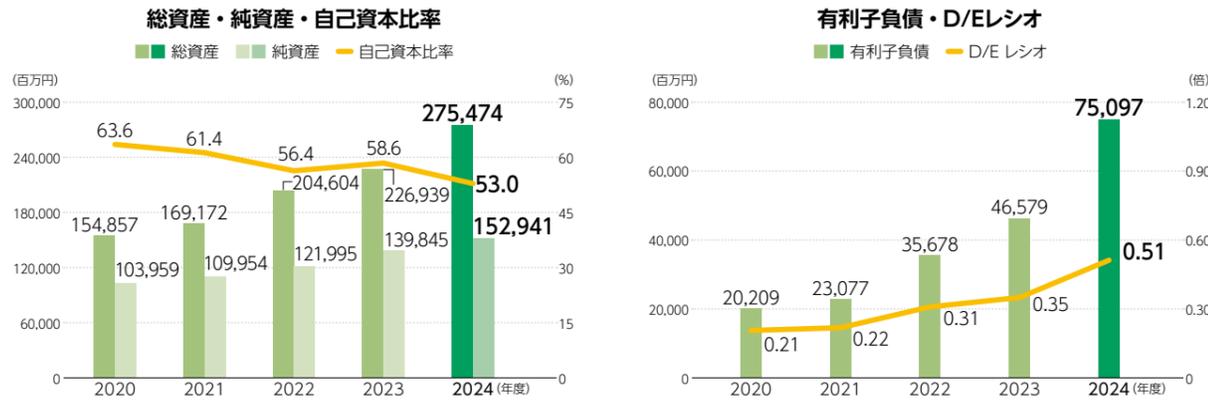
▶ 収益の状況

2024年度の売上は前年並みで14年連続の増収となりましたが、これまで順調に推移していた営業利益は減少となりました。また、2024年度の売上高営業利益率(ROS)、自己資本利益率(ROE)はそれぞれ8.5%以上、11.0%以上の目標に対し、7.0%、9.7%にとどまりました。



▶ 資産と調達状況

自己資本比率やD/Eレシオは相応の安全性水準であるものの、世界的な農薬の在庫調整やアクシーブ®のジェネリック品参入等の影響による棚卸資産の増加に伴い、有利子負債は増加傾向にあります。



▶ 投資の状況

工場プラントの新設や研究所の整備などを実施。新剤開発に向けた研究開発投資も積極的に実施しています。



▶ 株式還元状況

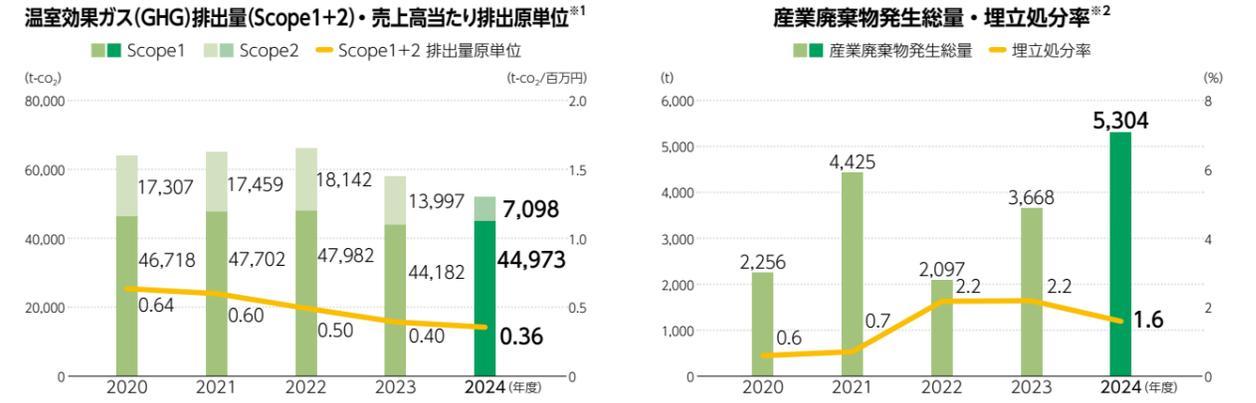
現中期経営計画で設定した「配当性向30%以上を安定して達成する」という方針に基づき実施しています。



▶ 環境への影響

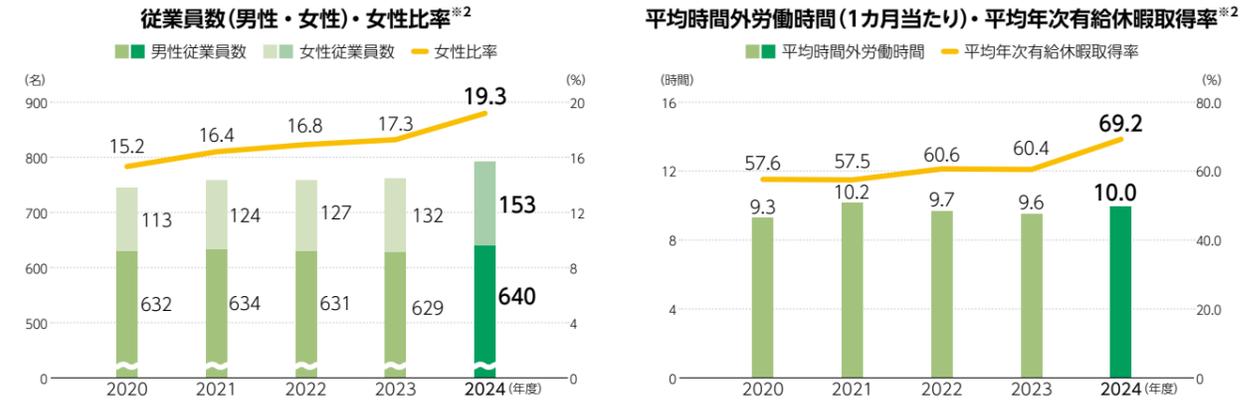
2024年度の売上高は2019年度比で約56%増加していますが、温室効果ガス(GHG)排出量は同年度(67,009t-CO₂)比約22%減少しており、現時点で2030年度の数値目標達成の目途が立ちました。

(注) Scope1+2のGHG排出量をグループ社を対象に2030年までに2019年度比30%削減とする目標

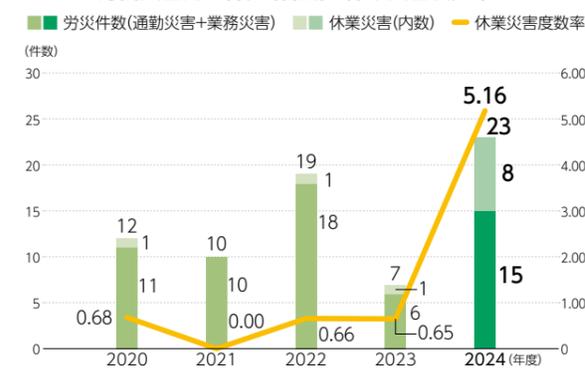


▶ 人材戦略ビジョンに向けて

「クミアイ化学グループ人財マネジメントに関する基本方針」に基づき、中期経営計画の「人財戦略ビジョン」に掲げるダイバーシティ&インクルージョンおよびワークライフバランスの推進を図ります。



労働災害発生件数(新規)・休業災害度率



育児休業取得率(男性・女性)



※1：連結7社(クミアイ化学工業、理研グリーン、イハラニッケイ化学工業、ケイ・アイ化成、イハラ建成工業、尾道クミカ工業、クミカ物流)
 ※2：クミアイ化学工業単体 ※3：クミアイ化学工業単体の直接雇用者を対象